

研究課題名	圧迫骨折に対する経皮的椎体形成術の 除痛効果と椎体整復効果
実施責任者	所属・職名： 脳神経外科 医長
	氏名： 福岡 俊樹
研究の概要	近年の高齢化に伴い急増している胸腰椎椎体圧迫骨折に対する低侵襲な手術加療として、経皮的椎体形成術の需要が高まっています。当院では Vertebral body stenting (VBS) と呼ばれる椎体形成術を全国的にもいち早く取り入れ、積極的に採用しています。除痛効果、椎体整復効果について調査します。
対象となる個人情報	年齢、性別、骨折椎体、手術前後の痛みの程度、手術前後のレントゲン、CT などの画像所見
実施の期間	西暦 2021 年 6 月 1 日より
	西暦 2026 年 6 月 1 日まで
研究対象	上記期間に当院で経皮的椎体形成術（VBS）を受けられたすべての患者様